

# 至仏山山スキー

記 T村M

4/23(土)日帰り

メンバー: T村M、T村E、(会員外)S木、K村

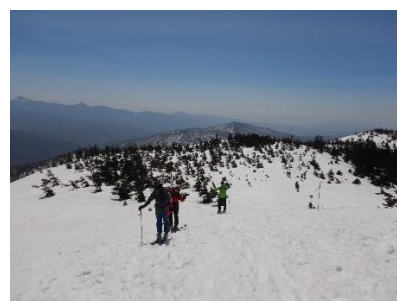
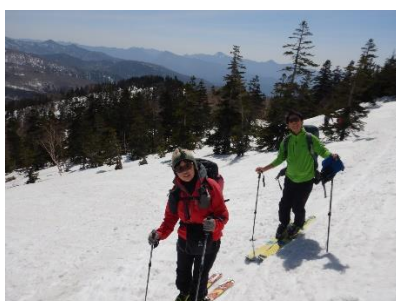
今は群馬在住の S 木さんから、久々にどこか山に行きたいね。山スキーでも良いよ。(ゲレンデスキーが主だったのに珍しい発言)と連絡があり、東北の方の山を検討していたが、天気が今で、天気が悪いのに遠くへは行きたくないね。ということで、結局 S 木さんの近場で至仏山に行くことになった。至仏山は何回かスキーで行こうと思ったが、まだ行ってない山だった。今回初めて行ったが、広い斜面の滑りが楽しめるとても楽しい山だということがわかった。毎年行きたい山になった。

2023/4/23(土) 晴れ

前夜は、沼田の道の駅白沢でS木さんと合流し、鳩待峠までの道が開通した最初の土日で混雑が予想されるので、戸倉まで行って仮眠することになり、S木車を道の駅白沢にデポしT村車で戸倉まで行った。戸倉の駐車場に1:00前に着いたが、鳩待峠の駐車場はすでに満杯の立て看板があった。でも戸倉の駐車場はまだガラ空きだった。車の前にテントを張り、軽く前夜祭後仮眠。明け方どんどん車が入ってきて朝一番のバスに乗る人たちの雑踏で目が覚める。ガラガラだった駐車場は満杯になっていた。私たちはもともと7時のバスに乗る予定だったので、それに合わせて支度をする。結局7時前の乗合タクシーで鳩待峠に行くことができた。鳩待峠は大勢の山スキーヤーでにぎわっていた。



8:00 私たちも支度をして鳩待峠を出発。登山道に沿って尾根を進む。雪の量は例年に比べて少ないようだが、まだまだ十分滑れる量の雪が残っている。登りもさほど急なところもなく、順調に高度を上げて行く。原見岩(トカゲ岩:岩はわからなかった)を過ぎ、オヤマ沢田代に到着。登り斜面の途中で広い平坦な雪原に出たところがそうだと思う。

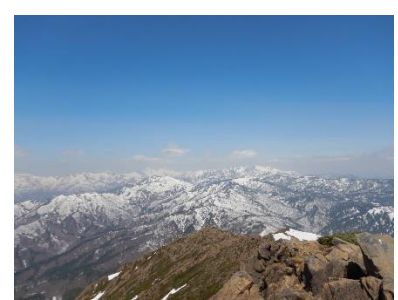


雪原の末端から少し登ると小至仏への登り道になるが、小至仏は2100m付近をトラバース。そのまま至仏山山頂(2228m)まで登る。小至仏のトラバースした斜面はまだ滑られていないようで頂上からの滑りも良さそうだった。次回は登り返して滑るとしよう。

[ここに入力]



11:20 至仏山山頂に到着。今日は最高の天気で、山頂からは360°の展望が楽しめた。長い休憩をとっていると、次々と登山者が登ってきて山頂は大混雑。下山する人もいたが、それ以上に登ってくる人が多く山頂はどんどん混んでくる。私たちもシールを外し下山の準備を始める。



12:30 下山(滑降)開始。山頂から広がる南東斜面を200m程下り南へトラバースしてひと尾根越え、小至仏山と至仏山のコルから広がる斜面に入り、そのままワル沢右俣に滑り込む。



ワル沢本流に入り1680mあたりでワル沢を渡る。そして、傾斜が緩んだところでオヤマ沢沿いに下って行き、1510m付近でオヤマ沢を渡って右岸を進んだが、100mほど進んだところで先に進めなくなってしまった。対岸に渡ってそのままオヤマ沢の左岸を進めば、尾瀬沼から鳩待峠に向かう林道に上がれるかもしれないが、オヤマ沢の再度の渡渉ができるかどうかかわからないので、この地点から南側の往路で使用した尾根に130m程登り返すことにした。シールを装着しシールで登り30分ほどかけて尾根にあがった。そこからは鳩待峠の小屋も見えている。シールを外し30m程下って無事鳩待峠に到着した。



鳩待峠で10分程休憩後、乗合タクシーで戸倉の駐車場へ向かう。尾瀬ぶらり館戸倉の湯で温泉に浸かり、その日はS木さん宅に泊まり、翌日帰宅した。

[ここに入力]

至仏山は毎年行っても楽しめる良い山だと思った。来年も行きたい山ができた。

コースタイム : 8:00 鳩待峠 ~ 9:06 1866m(巻き) ~ 9:32 1935m(巻き)休憩 ~ 10:15 オヤマ沢田代 ~ 10:35 小至仏山(トラバース開始) ~ 10:53 小至仏山(トラバース終了) ~ 11:20 至仏山 ~ 12:40 2000m(南へトラバース) ~ 12:45 1900m(ワル沢下降) ~ 13:05 1600m(ワル沢右岸へ) ~ 13:25 1510m(オヤマ沢右岸へ) ~ 13:28 1500m(稜線へ登り返す) ~ 14:15 1625m稜線 ~ 14:30 鳩待峠